

運営委員会サポーター（仮）会議 会議録

（立ち上げ・初回）

日時・場所：12月9日（木曜）20時30分～ ・ZOOM 会議

参加者：東・中小路・小島・角田・三島・佐々木・村井・榎本・河崎・前田・三宅

内容：

1. 確認事項

- ・ 会議目的：運営委員会を効率的に意義ある会議体にするための「仕組みづくり」
→ 目標：運営委員会への提案・実際の活動に活かされること
- ・ 会議内容：1) 会議：必要事項の洗い出し・役割分担・進捗状況の報告相談・「協議」
2) 作業：アーカイブ化（実録・文書化）・マニュアルづくり・改善案づくり

2. 「年間スケジュール」の策定

総会・運営委員会の協議事項（定例的な議事）の整理・優先順位づけ（スケジュールリング）

- 策定が必要な理由（内容に織り込む必要があること）
 - ・ 新運営委員への事業の継続するかしないか、旧運営委員の中でも結論出してなかった
 - ・ 新年度の運営委員で話し合いが、まず持っていない（総会前の時点で）
 - ・ 新運営委員の選出時期が現状は遅い（改善の必要いる）→ 4月以降
 - ・ 倉庫ロッカー世話人の仕事（計画性ができてない）

3. 「運営委員会の開催の流れ」の確立できる提案策定

(ア) 情報共有の仕組みづくり

- 情報共有できていない原因
 - ・ 方法（ツール）：FAX・メールがない
 - ・ 気持ち（モチベーション）：積極性に個人差がある
- 解決方法や意見など
 - ・ 班の仕組み（班長さんや副班長さん）の活用
 - ・ 会の雰囲気がモチベーションにつながらなかった
 - ・ 個人の忙しいことと、個人の価値観のなかでの優先順位が違う
 - ・ 研修会的なものをする（責任感を感じてもらう）
 - ・ 認識が上がっていない
 - ・ 情報共有できることがモチベーション上げにつながるのでは
 - ・ 公平感を保つ仕組み

- ・ わかっている人がわかる会議になっていた（過去の課題）
- ・ 人と人とのコミュニケーションが不足している気がする

(イ) 協議するための共通土台の仕組みづくり（リテラシー）

- ・ 協議するために必要な情報量が、個人間で差があり、協議できる状態でない
- ・ 不足する情報を会議中に補う必要（説明する時間）で協議時間が不足している
- ・ コムワンネットでの情報公開も、そのための環境整備（ツール）

(ウ) 積極行動につなげる仕組みづくり（裁量とやりがい・成功体験）

- ・ モチベーション（責任感や「やりがい」）を上げる仕組み、雰囲気が必要

(エ) 解決策の提案

- ・ 役割分担（運営委員会の仕事を振り分ける）ができれば時間的に余裕が生まれる
 - 生まれた時間で「おもしろみ」のある会議

4. 次回会議

- ・ ZOOM 会議
- ・ 20時30分～
- ・ 日程調整（伝助）とかで